

## 令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 地域で創る土曜日「夢の学習」

### 1 事業実施の方針

各地域における教育・福祉事業の推進を図ることを目的として、令和4年度も、5町21小学校区の地域を対象に社会教育事業を実施してきました。具体的には、令和3年度事業を継続し、土曜日を中心に体験活動を中心にした教育活動を展開してきました。社会教育の無償化を目標に、夢の学習では参加費・材料費は徴収せず実施できました。また、学びの意欲を尊重し、可能なかぎり希望者が参加できるよう配慮してきましたが、コロナ禍では安全の為に定員を決めての実施となり、希望していても参加できない学習もありました。

令和4年度は、甲賀市の委託事業として下記の4点について主に取り組んできました。  
家庭教育支援事業、子育て支援事業、市民講座、ゆめの HEYA の各事業です。

その結果、当初の予定を大きく上回る成果を上げることが出来ました。学習教室の開催数を取り上げて見ても、令和3年度が1,891回に対して令和4年度は、2,887回の教室開催ができました。

#### (1) 親子体験学習

親子体験学習は、家庭教育支援事業としての実践です。この体験学習は、親子を中心とした学習で7つの活動に区分して取り組んできました。教室数は、書道等では各町で実施しているため同じ教室があります。また、その実施回数は年間1回から年間40回を超える学習もあります。

- ①生活体験活動、59教室、264回
  - ②自然体験活動、20教室、36回
  - ③伝統文化体験活動、75教室、560回
  - ④料理教室、郷土料理教室、9教室、63回（別途大人8教室、35回）
  - ⑤スポーツ体験活動、41教室、293回
  - ⑥社会貢献活動（ゆめの HEYA75HEYA,751回）
  - ⑦学習支援・教育相談、46教室、348回
- 合計 237 教室、1501 回の教室の開催ができました。

#### (2) 子育て支援事業

乳幼児が参加できる教室の開催についても実施してきました。また、「ゆめの HEYA」の実施により、子育て広場の開催にこぎつけ年間継続事業となりました。

子育て支援事業は、家庭教育事業に含まれた形で実施してきました。就学前の乳幼児の参加できる教室は93教室、526回の実施となりました。

### (3) 市民講座

令和2年度より始めた市民講座を令和3年度より、別途立ち上げ、令和4年度は次のように区分し、実施してきました。

①成人講座 47 教室、375 回、

ア、生活・文化・趣味等、イ、スポーツ、ウ、料理、エ、社会貢献

②甲賀市出前講座 34 教室、34 回

③リカレント教育への誘い、11 教室 196 回

全体で 92 教室、605 回実施することが出来ました。ここには、料理教室と社会貢献活動は含まれていません。ゆめの HEYA としてあげています。

### (4) 「ゆめの HEYA」構想推進事業

令和3年度より「ゆめの HEYA」構想の推進を進めてきました。

「ゆめの HEYA」とは、地域住民が抱える地域課題を解決するための場を、住民が自由に立ち上げ、課題解決に向かう活動です。夢の学習はその支援をしてきました。

「ゆめの HEYA」構想は、次のような目的を持って進めてきました。

①今まで以上の地域住民による主体的な活動を起こそうとするものです。

令和2年までの5年間の実績で、500名以上のボランティアの協力によって進めてきた活動は、実践を通しての課題発見に基づいて事業を起こしてきました。

しかし、そこでのボランティアの活動もあてがわれたものとしての活動となり、参加割合も 64.9%から 57.5%と低いものとなりました。もちろんコロナ禍での影響もありました。

②昨年度の課題には、なかなか当事者の思いをくみ取ることができない課題もありました。

そこで、思いを共有していく仲間がいれば課題に対応できるのではないかとの反省から、それぞれの課題意識を持った市民による活動を推進することで、より充実した活動ができるものと考えました。

③「ゆめの HEYA」の活動推進とともに課題が明確になり、「ゆめの HEYA」のつながりで豊かな活動に発展していくのではないかと思われたからでした。

その結果、「ゆめの HEYA」が実際に活動し、多くの計画を立てることができました。

以上の令和3年度までの経過を基礎にしながらの、令和4年度の「ゆめの HEYA」の活動も 75 HEYA 751 回の安定した活動を展開できるまでになりました。

ゆめの HEYA の活動内容は

①教育

ア、ゆめサポート（学校に行きづらい子の HEYA）5 HEYA・42 回

イ、放課後学習 5 校、188 回（4 校 102 回）

ウ、コミュニティースクール 4 校 15 回

エ、SD g 10 回

②福祉

サロン活動やその支援委 33 HEYA・385 回の開催がありました。

③公共交通推進

④郷土料理普及・食育

⑤料理教室 以上

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1. 地域づくりのための社会教育事業、この事業は、2. 以下の全ての事業を含む	体験活動を中心とした約350の教室や HEYA が年間 延べ 約 2,887 回の活動を実施することが出来た。	原則毎週 土、日曜日 9:00~12:00 平日 9:00~12:00  平日の開催が増えてくと同時に高齢者のさんかも徐々に増えてきた。	5 町中央公民館、各区・自治会の集会所、各町スポーツ施設、学校、地域の農園3か所等。今までの活動場所が約70カ所以上になってきている。	ボランティア登録者数は、3月末で、約850名となっているが、年度末調査では約500名の参加となっていた。実際の活動率は、59%となっていた。年間の活動者数は半日を単位として、8,230名であった。	コミュニティーチャートの資源に充実に伴い、本昨年度の参加者数は、21,880名であったが、令和4年度には延べ30,335名であった。1.4倍となっている。	甲賀市委託事業 (39,600)  2以下の事業費を含む。  助成金事業は、その事業内で使用。 ・文化庁伝統文化親子教室事業 (2,300)
	市民講座 ア、成人講座 イ、甲賀市出前講座 ウ、リカレント教育につなぐ専門的な講座	日・月曜日を 除く日	主に公民館、 体育館等で 実施。	年間市民講座 92 教室、 605 回開催 内 甲賀市出前講座 34 回実施	市民講座への参加は、高齢者を中心に増加してきている。	
	「ゆめの HEYA」推進事業 年間約 75 の部屋 「不登校」 他	各部屋の運営者により実施するため、年間適時実施。	各部屋の運営者により適時場所を決定。	従業者数は、各部屋約3名として、約230名  75HEYA 751 回開催	各部屋 数名~30名	
2. 地域連携に関する事業	スポーツ団体との連携事業  甲賀市パラスポ協会との連携事業  甲賀市スポーツ協会との連携事業	原則毎週土・日曜日 9:00~12:00 また、施設借用状況に応じて午後実施。	学校体育館・市民体育館・公民館、ホール等	野球・バレーボール・サッカー・ソフトボール・テニス・剣道・空手・合気道・バスケットボールの指導者と補助員(ボランティア) パラスポーツの指導者と夢の学習ボランティア	参加者  全体で 41 種 293 回の実施  各競技 数名~40 名の参加	市委託費より

相談活動。	原則毎週土曜日実施  日曜日	水口中央公民館相談室	元校長、臨床発達心理士、生涯学習コーディネーター、夢学スタッフ他随時	「ゆめのHEYA」  5HEYA42回実施し毎回の参加は1名～数名である。	
伝統文化親子教室・土曜学習事業に関わるもの	原則毎週土・日曜日9:00～12:00 また、施設借用状況に応じて午後実施。	各町関係施設	百人一首・囲碁・将棋・けん玉・茶道・伝統郷土料理・書道・そろばん、日本舞踊等、  75教室 560回実施	対象者親子並びに子ども。市内保幼小中を対象の参加は全体の約2割であった。	伝統文化親子事業 水口支部 (1,000) 甲南支部 (1,000) 信楽 (300) (合計 2,300)
地域伝統産業や地域の歴史文化に関わる事業 かんぴょう栽培  信楽焼ランブシェードの作成	年間を通して適時実施  信楽月1回  年間2回	水口 看谷農園 谷口農園  信楽 里見農園  くるみ作業所 壺くろう	ボランティア5名	各10名～20名	甲賀市委託費より  文化庁伝統文化親子教室事業
地域事業との連携事業	原則毎週土・日曜日9:00～12:00であるが、地域事業に合わせて実施。	飯道山清掃活動大人だkrでの活動(夢の学習中止) のろし駅伝 正月早朝登山等の実施場所	関係運営組織との連携協働事業 本会からは、約20名。	それぞれの事業によって数名～数十名	甲賀市委託費
郷土料理集の作成事業	年間月1回の会議  料理研究各地域で実施	水口中央公民館  各公民館	約13名～15名  各地域3名から5名	事業支援ボランティア約60名  各地域ボランティア各約5名	甲賀市委託費
「ゆめのHEYA」地域課題に関する部屋	適時実施	公民館、集会所等	各部屋の責任者約3名	各「ゆめのHEYA」5～10名で構成	甲賀市委託費

3. 福祉に関する事業	生活支援事業 「ゆめのHEYA」とのつながりを作る	10月講座の開設	水口中央公民館	関係機関との連携により講師依頼	各校区単位での取り組みになるよう数年の計画をたてて推進していく。	市委託費
	サロン活動との連携事業年間30回実施	土曜日・平日 9:00~ 12:00	サロン活動・地域事業実施場所	夢の学習出前講座 15名~20名で実施。	約500名	
	高齢者施設訪問事業 コロナ禍の為(中止)	葉牡丹栽培に合わせて実施(中止)	各関係施設訪問中止			市委託費による設備準備については助成金を申請。
	子育て支援事業。 乳幼児と保護者の居場所づくり  子育て広場2カ所開設	講座開設時間帯。 学習への参加含む  夏季休業中の実施	各事業実施場所に積み木・本等を置き居場所を作って対応  各中央公民館	各講座に特別スタッフを配置 令和4年度 93教室 526回実施	R3年度 3,596名参加 令和4年度 3,784名参加	
	料理教室(子ども食堂)事業5町で実施、年間約63回実施	5町で実施。土曜日の午前中に実施。参加状況により午後や日曜日に実施。	学校調理室の利用が出来なかった。甲南青少年活動センター、公民館等	年間延べボランティア約60名が活動 9か所63回実施	約700名	平和堂・JA・滋賀県社会福祉協議会・甲賀市社会福祉協議会などの支援により実施できた。
		令和4年度もコロナの影響により、持ち帰り方式により実施。				
	「ゆめのHEYA」 ・不登校 ・引きこもり ・簡単介護 ・生活支援 他	適時開催	各地域公共機関、その他施設	75HEYA 751回の実践ができた。	各部屋数名で構成 参加者は、サロン活動では、約20名	甲賀市委託事業から
	簡単朝食レシピ集の発刊  簡単朝食料理教室	新1年生に配布  適時	事務局  地域料理教室担当	約10名  約40名	配布対象 小学校1年生 約800名	昨年度作成
夢の学習研究推進活動	年間通した研究活動	県内外で実施。	スタッフ一同で推進し	次年度の資源としてコ	甲賀市委託費	

4. 上記実践にかかる研究事業 広報活動	コミュニティーチャートを基本にした事業推進と研究活動	課題解決のための推進活動 年間	市内での実践を通じた活動  本年度市内での実践からまとめる	ていくこと。 ・研究骨子の作成  ・データの収集と分析  ・発表者のプレゼン作成	コミュニティーチャートに残していく	
	滋賀県福祉学会研究発表会での発表	1レポートの実践発表	滋賀県長寿福祉センター	事務局28名 ボランティア約500名	研究会参加者 コロナ禍の為参加者2名	研究費より

# 決 算 報 告 書

## 第 6 期

自 令和 4年 4月 1日

至 令和 5年 3月31日

NPO法人 地域で創る土曜日夢の学習

滋賀県甲賀市水口町綾野3番51号

# 貸借対照表

NPO法人 地域で創る土曜日夢の学習  
全事業所

[税込] (単位:円)  
令和 5年 3月31日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)

現金 407,632

他店商品券 256,000

普通預金 9,158,989

現金・預金計 9,822,621

流動資産合計 9,822,621

### 【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品 14,939

有形固定資産計 14,939

固定資産合計 14,939

資産合計 9,837,560

## 《負債の部》

### 【流動負債】

買掛金 40,773

未払金 2,880,205

預り金 13,298

未払法人税等 499,500

未払消費税等 1,112,600

流動負債合計 4,546,376

負債合計 4,546,376

## 《正味財産の部》

前期繰越正味財産 4,392,271

当期正味財産増減額 898,913

正味財産合計 5,291,184

負債及び正味財産合計 9,837,560



# 活動計算書

[税込] (単位:円)

NPO法人 地域で創る土曜日夢の学習

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日

## 【経常収益】

### 【受取会費】

正会員受取会費 45,000

### 【受取寄付金】

受取寄付金 318,000

### 【受取助成金等】

受取助成金 2,700,000

受取補助金 60,000 2,760,000

### 【事業収益】

受託事業収益 39,600,000

### 【その他収益】

受取 利息 110

雑 収 益 8,000 8,110

経常収益 計

42,731,110

## 【経常費用】

### 【事業費】

#### (人件費)

ボランティア評価費用 3,563,360

人件費計 3,563,360

#### (その他経費)

諸 謝 金(事業) 492,000

印刷製本費(事業) 1,323,678

教 材 費(事業) 7,992

旅費交通費(事業) 3,350

通信運搬費(事業) 81,119

消耗品 費(事業) 3,021,844

賃 借 料(事業) 55,660

保 險 料(事業) 785,223

研 修 費(事業) 2,000

その他経費計 5,772,866

事業費 計

9,336,226

### 【管理費】

#### (人件費)

給料 手当 22,934,475

法定福利費 1,467,194

人件費計 24,401,669

#### (その他経費)

印刷製本費 33,160

会 議 費 36,153

旅費交通費 767,130

通信運搬費 878,465

消耗品 費 2,546,656

修 繕 費 70,950

新聞図書費 540,272

減価償却費 199,393

保 險 料 25,740

# 活動計算書

[税込] (単位:円)

NPO法人 地域で創る土曜日夢の学習 自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日

諸会費	34,375	
リース料	38,616	
租税公課	1,800,800	
支払手数料	534,076	
雑費	89,000	
その他経費計	<u>7,594,786</u>	
管理費計		<u>31,996,455</u>
経常費用計		<u>41,332,681</u>
当期経常増減額		1,398,429
【経常外収益】		
経常外収益計		0
【経常外費用】		
経常外費用計		<u>0</u>
税引前当期正味財産増減額		1,398,429
法人税、住民税及び事業税		<u>499,516</u>
当期正味財産増減額		898,913
前期繰越正味財産額		<u>4,392,271</u>
次期繰越正味財産額		<u>5,291,184</u>

# 財 産 目 録

特定非営利活動法人 地域で創る土曜日夢の学習

[税込] (単位: 円)  
令和 5年 3月31日 現在

## 《資産の部》

### 【流動資産】

(現金・預金)

現 金 407,632

他店商品券 商品券 256,000

普通 預金 滋賀銀行/綾野支店ほか 9,158,989

現金・預金 計 9,822,621

流動資産合計 9,822,621

### 【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品 パソコンほか 14,939

有形固定資産 計 14,939

固定資産合計 14,939

資産合計 9,837,560

## 《負債の部》

### 【流動負債】

買 掛 金 JCB利用分 40,773

未 払 金 3月分給料ほか 2,880,205

預 り 金 源泉所得税 13,298

未払法人税等 499,500

未払消費税等 1,112,600

流動負債合計 4,546,376

負債合計 4,546,376

正味財産 5,291,184

# 財務諸表の注記

特定非営利活動法人 地域で創る土曜日夢の学習

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日

## 1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日（2017年12月12日最終改正）NPO法人会計基準協議会）によっております。

### (1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づき、定率法を採用しております。

### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用しております。

## 2. 固定資産の増減内訳

[税込] (単位: 円)

科目	期首取得価額	期中取得	期中減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 什器 備品	1,221,372	0	0	1,221,372	△ 1,206,433	14,939
	1,221,372	0	0	1,221,372	△ 1,206,433	14,939

以上